

成功するDX失敗するDX

開催趣旨

少子化や社会の急速なデジタル化に伴い、大学業界は教育・研究機能の充実と経営基盤の強化が求められています。こうした外部環境に対応するためには、業務のDX（デジタルトランスフォーメーション）が不可欠です。DXは業務効率化に留まらず、学生サービスや教育の質向上にも寄与します。本研修では、職員が業務改善やDXの意義を理解し、自身が担当する業務を見直し改善の方向性を考えるプログラムとなっています。

【研修の目的】

学生に向き合う時間を増やし教育の質の向上を実現するために、事務業務を効率化する方法や最新のテクノロジー（DX）について学ぶ。

【研修の目標】

- ・DXの定義や目的を理解する。
- ・業務改善のステップや他大学での成功・失敗事例を知る。
- ・自身の業務を見直し改善の方向性を案出できている。

対象の目安

全教職員（勤続年数にかかわらず、どなたでもご参加いただけます）

開催日時

2026年8月7日（金）13:00～17:00

会場

キャンパスプラザ京都

募集定員

30名

- ※ 大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学優先および先着順
- ※ 定員を超過したときは、参加をお断りする場合がございます。
- ※ 申込人数が定員を大きく下回るときは、開講しない場合がございますのでご了承ください。

参加費用・振込期限

加盟大学・短期大学 4,000円

非加盟大学・短期大学 10,000円

※ 請求書をお送りいたします。指定の口座にお振込みください。

【振込期限】 2026年8月3日（月）

※ 期日までにお振込みいただけない場合は、事前にご連絡ください。

申込方法・申込期間

【申込方法】

WEB ページよりお申込みください。

<https://www.consortium.or.jp/project/sd/joint-p>

【申込期間】

2026年6月24日（水）10：00～7月24日（金）17：00

研修プログラム

大学業務のDX化に必要な基礎知識や必要なスキルを学びます。IT化とDX化の違い、組織でのDX実現の成功・失敗事例などについて学びます。また、グループワークを通じて他大学での取り組みを知り自身の業務に生かします。

<事前課題>

事前課題用の動画を視聴いただき、自身が担当する業務とそのプロセス（手順や成果物）を洗い出し、業務上の問題点や自身が考える改善方法についてExcelシートにまとめてください。当日はこのシートをもとにグループワーク（意見交換）を実施します。

<当日のプログラム>

1 DXとは何か？

- ・DXの定義と目的
- ・IT化とDXの違い
- ・DXの進め方
- ・大学におけるDXと最初の一步

2 なぜ業務改善が必要なのか？

- ・業務改善が必要となる背景
- ・大学設置基準からみる事務職員の役割変更
- ・学校現場でのよくある業務上のボトルネック

3 業務改善のステップ

- ・業務見直しの思考プロセス
- ・業務改善を実現するシステム（ツール）

4 他大学から学ぶDXの成功・失敗事例

- ・成功事例
- ・失敗事例
- ・事例紹介

5 自分の業務を見直そう

- ・改善できる業務の洗い出しと改善策の検討
- ・全体発表
- ・講師からのフィードバック
- ・おわりに

講師

株式会社エデュース
コンサルティング部
芝田 剛志 氏

【経歴】

大学卒業後、システムインテグレーターでのSE職、事務用品販売会社での業務改善コンサルタントを経験。エデュース入社後は、学校専門のコンサルタントとして経営改善、DX推進、業務改革のプロジェクト等に従事。一部署の業務改善から全学的な業務改革まで多岐にわたる経験を持つ。また、業務自動化ツールRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の技術者と講師としてのライセンスも持つ。